

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 8 月 19 日

青森市長 様

提出者

住 所 青森市けやき1丁目2番8号

氏 名 株式会社 丸美佐藤組

代表取締役 佐藤 善一

電話番号 017-726-2256

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

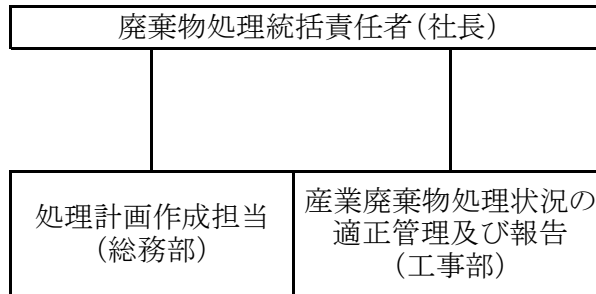
事業場の名称	株式会社 丸美佐藤組
事業場の所在地	青森市けやき1丁目2番8号
計画期間	令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高 306百万円
③従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	* がれき類 → 再生処理業者へ委託 → 破砕 → 再生砕石として再資源化 * 木くず → 再生処理業者へ委託 → 破砕 → チップとして再資源化 中間処理業者へ委託 → 焼却 → 最終処分場で埋立て処分 * 廃プラスチック類 → 中間処理業者へ委託 → 破砕 → 最終処分場で埋立て処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属屑
	排出量	1147.12t	3.36t	13.9t	0.0t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	可燃物混合	石綿含有産業	汚泥
	排出量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) * 混在しないように分別を徹底している。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	木くず	金属屑
	排出量	500.0t	5.0t	10.0t	0.0t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	可燃物混合	石綿含有産業	汚泥
	排出量		0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) * 今後も、引き続き分別の徹底を図る。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) * がれき類・廃プラスチック類等の混在しないように、分別の徹底をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) * 今後も、引き続き分別の徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(R5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) *これまで自社での再生利用を行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) *実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(R5 年度)実績】		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) *これまで自社での中間処理を行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) *実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(R5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) *これまで自社で埋立処分又は海洋投入処分を行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) *実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(R5年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき 類	廃プラ	木くず	金属屑	繊維 くず	可燃物 混合	石綿含 有産業	汚泥
	全処理委託量	1147.12	3.36	13.9					
	優良認定処理業者 への処理委託量								
	再生利用業者への 処理委託量	1147.12							
	認定熱回収業者 への処理委託量								
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量								
	(これまでに実施した取組) *産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。								

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	木くず
	全処理委託量	500t	5t	10t
	優良認定処理業者への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量	500t		
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	(今後実施する予定の取組) *混在しないように分別を徹底する。また、可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。